



平成15年度の活動に当たって

—総会における会長挨拶— 会長 犬東 洋志
総会に多数の会員が参加いただきお礼申し上げます。

技術者を取り巻く環境もこの経済環境では以前のように安閑として居られませんが皆さんと共に基本に戻って活動することが大切だと思います。

技術士として今やらなければ成らないことは基礎技術の研鑽であり指導です。そして技術マネジメントが出来る技術士に成長することです。

更には他の技術集団と連携して活動することが今一番必要なことと思います。皆さんの中には企業内技術士も居られますし、官の方も居られます。更には大学内の方も共同する必要があります。いわゆる産・学・官の連携が一番必要な時です。

またこれらをリードしていくのはやはり官ではないでしょうか。本県にはNERCがありその任にはもってこいだと思います。

情報の時代とは云え人が集まり議論する処から進展が始まると考えますし、夢を語ることで希望が湧き前進があるのではないのでしょうか。

今後のご活躍を祈念しておきます。

技術士CPDについて

(財)長崎県建設技術研究センター 小松 和彦

この度、長崎県技術士会の中にCPDのための研修委員会が設けられ、私がNERC((財)長崎県建設技術研究センター)に勤務していることから研修委員長を務めるようになりましたので、よろしく御願います。

技術士の皆様は一定の自己研鑽に努められていると思いますが、「CPD実績についてはできる限り第三者から見ても認められ得る形態が望ましい」とされており、CPDは講習会、研修会に参加するのなら、講座の内容が良く、受講料が安いことが望まれます。

現在、県内における研修としては長崎大学が行っている長崎地盤研究会、産業基盤維持管理研究会、長崎大学公開講座などがあります。

ところでNERCのPRになって恐縮ですが、NERCで行っている一般研修は誰でも参加できる研修で、今年度は河川、道路、舗装、橋梁、土質など22講座を予定しています。レベルとしては中堅技術者程度で若干物足りない面もあるでしょうが、受講料は1日間研修で3,900円、2日間研修で6,800円とリーズナブルになっています。

更にお勧めしたいのは一般研修の講師を務められることです。CPDガイドブックによりますと、講習会、研修会の講師のCPDのWF(時間重み係数)は3でありますし、NERCの講師謝礼(薄謝ですみません)も考慮すると一石二鳥ではないでしょうか?

長崎県技術士会の平原技術士、大橋技術士、山口技術士、山田技術士、原技術士、桐原技術士など多くの方に講師を引き受けていただいています。

会員の皆さん、自ら企画した講座でも結構ですから是非当方へご連絡ください。

長崎地区広報委員として思うこと

大栄開発(株) 平原 宏志

(社)日本技術士会九州支部の長崎地区広報委員として「技術士だより」発行のお手伝いをさせていただいております。その中で感じたことは、九州支部の大半の地区がホームページを開設して、九州支部、本部及び他の地区とリンクさせています。長崎県技術士会もホームページを開設できれば良いと思っております。

これからはコンピュータを駆使し、日本を初め世界の必要な情報を収集、分析して自らの業務に反映させることが技術力の向上につながると考えます。

長崎地区はホームページを開設してはいませんが、「IPEJ」を発行することができたことは、情報化が一步前進したことになり喜んでおります。これから先は、紙面を更に充実させ、長崎県技術士会の広報及び技術情報の発信源となることを望んでいます。

これからの技術者は自分の専門部門だけではなく、周辺分野、さらには融合できる分野の勉強を行う必要があります。特に、技術士は継続教育が義務付けられ、年間50時間の教育が必要となっています。このことを考えると、長崎地区だけではなく佐賀地区及び福岡地区(九州支部)と合同で、継続教育を行う機会が増えてくると思われます。そのためには必要な情報を集めなければなりません。将来は、各会員が継続教育の情報を集め、長崎県技術士会のホームページにその情報を提供し、会員のコミュニケーションが活発になれば良いと思っております。

長崎県技術士会もCPD委員会が発足し、継続教育を行う方法が確立したことは喜ばしいことです。九州支部、佐賀県等に研修に行くと旅費がかかります。できれば50時間の大半を長崎県内で研修できることを希望しています。

最後になりましたが、日頃より「技術士だより」の原稿執筆に御協力をいただき有り難うございます。これからも会員の皆様に、原稿の執筆を御願いますことがあると思いますので、日々感じること、御意見、技術士会への要望等「声の広場」の原稿を準備していただければ幸いです。これからも会員の皆様に役立つ情報を届けて行きたいと思っておりますので、よろしく御願い致します。

官庁技術者の技術力向上と役割について

長崎市役所 樋口 敏昭(下水道)

私は、長崎市役所技術調査課に勤務しており、職員の技術研修、コスト削減対策、建設リサイクルの推進、積算基準の管理、CAL/ECの推進、等の業務を担当しています。そのなかで近年職員の技術力の低下が、さまざまところで指摘され、以下のような対応策を講じてきました。

- ① 資格取得の奨励事業の推進
- ② 各種講習会への派遣
- ③ 技術調査会(庁内設計VE)の開催

④ 課内設計検討会の開催

⑤ 技術研究発表会の開催

しかしながら、なかなか技術力が向上するまでには至っていないのが実情です。

その原因を考えてみますと

① 従来より I T の習熟や、市民との調整業務等の、設計や施工管理以外の業務が増大してきた。

② 過剰な業務や技術職員の減少のために、職場における O J T がなされにくくなっており、技術の伝承がうまく行われていない。

③ 大型工事については、設計の外注化が進み設計能力の低下をきたしている。などがあげられます。

技術者個人の資質向上のための方策を粘り強く推進し、自己研鑽を促すことは重要なことですが、これのみでは改善できないと考えています。

そこで、将来的には本市技術者の業務の範囲を企画、市民との調整等の川上部分に特化して、その範囲のなかで技術に裏打ちされた企画力・調整力の向上を図っていくしか手はないと判断しています。

したがって、設計・施工管理などのハードの部分は民間の技術者にお願いして、本市技術者は川上部分に特化したうえで、企画から維持管理までを統括する役割に移行していくことになるのではないかと考えています。

民間においても、リストラによる技術者の減少、分業化による技術力の低下が、指摘されていますが、技術士会会員の企業でどのような対策を立てられているのか、このような誌上や研修会で意見を聞かせていただきたいと思えます。以上

総合技術監理部門を受験して

西日本菱重興産(株) 大橋 義美

本年度より、長崎地区代表幹事を仰せつかり責任の重さに身が引き締まる思いです。微力ではありますが県技術会と九州支部の橋渡しに努力して行く覚悟ですので、会員皆様のご指導ご鞭撻してご協力を宜しく御願ひ致します。

さて、第20番目の技術部門として「総合技術監理部門」が新しく設けられ受験したので感想などを述べてみたいと思えます。

「技術士制度における総合技術監理部門の技術体系」によると、総合技術監理部門の範囲としては、主として①経済性管理(事業の企画や計画、品質、工程、原価、設備等)、②人的資源管理(人の行動と組織構造、労働関係法と労務管理、人的資源開発等)、③情報管理(通常・緊急時の情報管理、情報セキュリティ等)、④安全管理(リスク管理、労働安全衛生管理、未然防止活動・技術、危機管理等)、⑤社会環境管理(環境評価、ライフサイクル・アセスメント、環境経済評価手法等)であり、その他に社会的規範や国際的ルール(ISO9001,ISO14000,OHSMS等のマネジメントシステム)を統括した倫理観や国際的視点などもその範囲に含まれるとされています。

当部門の管理は、このように広範囲に亘っており、組織の運営やプロジェクトの遂行に当たっては、このような総合的な管理が大事であり、組織・企業の経営者、管理者そして技術者にとって習得すべき管理技術です。この部門の新設を機会に勉強し受験したこと。また、受験希望者による勉強会の開催など非常に有意義でした。

受験を通じて得た管理技術を、今後の業務に活かして行きたいと考えています。

今後、多くの方々が総合技術監理部門の資格を取得され、夫々の立場で活躍されることを願うものです。

今年度から、総合技術部門の受験に当たっては1次試験の合格が必要であるため、最初から技術士を受験された方は2回の受験が必要となります。

平成15年度定期総会報告

事務局

15年度定期総会を、36名の会員出席の下に15年6月13日L&Lホテルセンリュウ(諫早市)で開催しました。

議事は会長挨拶の後、14年度の事業報告、収支・監査報告及び15年度の事業計画案、予算案が審議の上承認されました。また、研修要領案、災害技術支援活動と災害専門家登録のお願い、佐賀のNPOへの賛助会員としての入会、2003年度会員名簿の作成などについての報告、承認を得ました。

総会后、研修会を開催し、「1874年、長崎で行われた金星試験」松本直弥、「光ファイバセンサを活用した道路斜面モニタリング」林興一郎の両技術士の興味ある講演を聞きました。

懇親会は28名(新入会員3名)の参加で、お互いの近況報告や技術士としての活動についての話題など、有意義な情報交換ができ盛会裡に閉会しました。

研修委員会便り

①10月末に佐賀県技術士会と共催で「神の島四郎島大砲台場」に関するシンポジウムの開催を予定しています。詳細が決定しだい連絡しますので、会員、ご家族、知人等多くの参加をお願いします。

②11月29日(土)13時30分より武雄市で開催される佐賀県技術士会の研修会に、長崎県技術士会より1名の講演を依頼されていますので、講演頂ける方のご連絡を待っています。連絡は8月末迄に事務局へ。

③C P D研修登録関係フォームのソフトを、永濱伸也技術士の手により作成して貰いましたので必要な方はメールのうえ入手され、これを活用されると便利です。

④研修に関する各種研修会の情報、会員皆様の要望・意見等を事務局までお寄せください。

編集後記

本機関紙は年4回発行の計画であり、4月、7月、10月、1月の夫々の1日に発行して行きたい。第2号は総会后に編集に着手しましたが無事発行できほっとしています。今後は、会員皆様の多くの執筆を頂き、より充実した機関紙にしていきたいと思えますので、奮っての投稿をお待ちしています。

今後の皆様のご健闘を祈念して筆をおきます。

(社)日本技術士会九州支部 長崎県技術士会

〒852-8136

長崎市家野町9番9号

TEL 095-848-1211

FAX 095-847-8144